



2026 全日本ジュニアスキー選手権 梅池大会
スノーボード競技・種目スロープスタイル&ビッグエア

開催要項

- 1 主催 公益財団法人 全日本スキー連盟
2 主管 公益財団法人 神奈川県スキー連盟・ジャイロテクノロジー株式会社
3 協力 梅池高原スキー場、THE PARKS、NPO 法人ジャパンスノーボードサポートグループ
4 協賛 ブックオフコーポレーション株式会社
5 会期 2026年1月23日（金）～1月25日（日）
6 開催地 長野県北安曇郡小谷村 梅池高原スキー場 OAKLEY TG PARKS
7 実施要項

(1)競技種目

男子スロープスタイル 小学4～6年生、中・高生 女子スロープスタイル 小学4～6年生、中・高生
男子ビッグエア 小学4～6年生、中・高生 女子ビッグエア 小学4～6年生、中・高生

(2)日程

期日	開始時間	種目・表彰式等	会場
1月23日（金）	12:00～13:00 13:30～15:30 16:30～	受付 公式練習	ゴンドラ中間駅特設受付 OAKLEY TG PARKS
1月24日（土）	8:40～9:10 9:20～ 13:20～ 15:30 16:30	全カテゴリー公開練習 中高生男女 予選、小学生男女 決勝 中高生男女 決勝 表彰式 TCM	OAKLEY TG PARKS コース下部 ゴンドラ中間駅特設受付
1月25日（日）	8:40～9:10 9:20～ 13:00～ 15:30	全カテゴリー公開練習 中高生男女 予選、小学生男女 決勝 中高生男女 決勝 表彰式	OAKLEY TG PARKS コース下部

- 8 競技規則 (1) ドローについては、コンピュータードローとする。
この要項に定めた以外は FIS 競技規則及び SAJ 競技規則最新版による
- 9 参加資格 (1) 参加選手は、2026年4月2日時点で18歳以下の者。
(2) 2025/2026シーズン SAJ 会員登録および競技者登録完了者

- (3) SAJ カテゴリー出場者は同 SAJ 競技者登録完了者
- (4) 出場については、保護者の同意が得られていること
- (5) SAJ 安全会、スポーツ傷害保険またはこれに準ずる傷害保険に加入していること

- 10 組別年齢
(SAJ 公認)
- | | | | |
|-------|----|-----------------------------|-----------|
| 小学生の部 | 男女 | 2013年4月2日～2016年4月1日の間に生まれた者 | (小学4～6年生) |
| 中学生の部 | 男女 | 2010年4月2日～2013年4月1日の間に生まれた者 | |
| 高校生の部 | 男女 | 2007年4月2日～2010年4月1日の間に生まれた者 | |
- 11 申込み方法 専用エントリーフォームにて申し込むこと
- (1) エントリーフォーム <https://forms.gle/h7tNywaKg3ZppB5v7>
 - (2) 申込締切日 2026年1月20日(火)
 - (3) 申込先
〒132-0021 東京都江戸川区中央3-9-7 三家第二ビル1F
ジャイロテクノロジー株式会社内
2025全日本ジュニア選手権梅池大会事務局
TEL:03-5879-6088、MAIL: gyro.technology00@gmail.com
 - (4) 参加料 小学生 5,000円 中学生 6,000円 高校生 6,000円/各種目男女
※申し込みを受け付けた者に対しては、理由の如何を問わず参加料の払い戻しはできません。
- 12 受付 大会本部は2026年1月23日梅池高原スキー場内ゴンドラ中間駅に開設予定。
- 13 表彰 全日本スキー選手権開催規程に基づき以下の通り表彰する
- (1) 各種目は、男女別総合男子・女子1位～3位までを表彰する。(中学・高校生対象)
小学生男女別総合1位～6位。
 - (2) 各組別 男女1位～6位までを表彰する。
- 14 傷害措置 参加選手がトレーニング中、又は競技中に何らかの傷害を受けた場合は、主催者側が応急処置を行うが、以後は各自の責任において処理すること。
- 15 その他
- (1) 大会コース内では公式トレーニング用ビブまたは競技用ビブを必ず着用すること
 - (2) クラッシュヘルメットを着用のこと。着用しない場合はスタートさせない。
 - (3) 代表者MTにはチームキャプテン及び保護者が必ず出席する事。
出席できない場合は選手若しくは代理人が出席すること。
 - (4) 取得した個人情報は、大会運営に関する業務以外には使用いたしません。

16 問合わせ

事務局 2026全日本ジュニア選手権樹池大会事務局
〒132-0021 東京都江戸川区中央3-9-7 三家第二ビル1F
ジャイロテクノロジー株式会社内
Tel: 03-5879-6088 Mai: gyro.technology00@gmail.com

17 大会書類

大会にて配布・掲示する書類（エントリーリスト、スタートリスト、リザルトなど）は、以下QRコードにてオンラインの配布としますので、必ずダウンロードの上参加してください。



エントリーフォーム



データベース

※1 右記QRコードの読み込みでもアクセス可能となります。

※2 隨時情報をアップしていくので各自定期的にご確認よろしくお願いします。

※3 確認事項のご質問は事務局までご連絡ください。

18 スポーツ界における暴力行為根絶宣言

本連盟及び本競技会は「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」に賛同します。

<https://www.joc.or.jp/news/detail.html?id=2947>

<https://www.joc.or.jp/news/download.php?id=2947&fn=bouryokukonzetsusengen%28yoko%29.pdf>

19 全日本スキー選手権開催規程

<http://www.ski-japan.or.jp/wp-content/uploads/310%E3%80%80%E5%85%A8%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%82%B9%E3%82%AD%E3%83%BC%E9%81%B8%E6%89%8B%E6%A8%A9%E5%A4%A7%E4%BC%9A%E3%80%80%E9%96%8B%E5%82%AC%E8%A6%8F%E7%A8%8B.pdf>

20 アンチ・ドーピング

- (1) 本競技会は日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール（ドーピング検査対象）大会です。
- (2) 本競技会参加者（未成年者を含む。以下同じ。）は、競技会にエントリーした時点でJADA規程に従い、ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとみなします。（未成年者の同意書については(4)を参照）
- (3) アスリートには教育を受ける権利があります。

「全日本スキー選手権大会」の出場前にしっておくべきアンチ・ドーピングルール

以下の行動を自信をもって行えますか？

ひとつでも「YES」と答えられないものがあった場合は、
下記URLもしくはQRコードから教育特設ページを必ずご確認ください

1. 薬を使用する前に、Global DROで禁止物質を検索することができる
2. Global DROの結果や、専門家に相談した履歴を保管できる
3. TUEのルール、取得するための4つの条件を医師に説明できる
4. TUE申請書を不備なく準備し、適切な申請先に申請できる
5. ドーピング検査時の権利と責務を理解し、行動できる
6. サプリメントのリスクを正しく説明できる



「全日本スキー選手権大会」
教育特設ページ



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構
JADA FAIR PRIDE

教育に関する国際基準において、ドーピング・コントロールの前に教育を受けることは原則として明記されています。以下のサイト、教材においてアンチ・ドーピング教育とスポーツの価値教育を受けたうえで、アスリートは本競技会に参加して下さい。

https://www.realchampion.jp/who/national_outline/?utm_source=ski&utm_medium=youkou&utm_campaign=202312ski

(4) 本競技会に参加する未成年の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯してください。
なお、親権者同意書フォームはJADAのウェブサイトよりダウンロードができます。

<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>

(シクミネットでの競技者登録時にアップロードした同意書でも代用を可とします。)

未成年の競技者はドーピング検査の対象となった際に、当該同意書を担当検査員に提出してください。
なお、親権者の同意書の提出は未成年時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、既に提出済みであることをドーピング検査時に申し出てください。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。

(5) 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。

(6) 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意して下さい。

(7) 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容及びドーピング検査については、JADAウェブサイトにて確認してください。<https://www.playtruejapan.org/>